

■ 建設ICT・DXを用いて生産性をアップさせる手法について学びました。



「i-Construction 2.0」による少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現及び建設現場のオートメーション化について学びました。

- 1 日時 令和7年9月19日（金）13：30～15：30
- 2 場所 ライブ配信
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員
- 4 参加者 23社 28名
- 5 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
13:00～13:30	（受付）Zoomの設定や操作について説明があります。13時20分までに接続してください。	
13:30～14:20	○「i-Construction 2.0」について ・「i-Construction 2.0」の目的、考え方 ・国土交通省における「i-Construction 2.0」の取り組み事項	・国土交通省 中部地方整備局 竹原 雅文 氏
14:20～14:30	休憩	
14:30～15:30	○事例紹介 「Smart Construction® による建設現場のデジタル化・可視化 ～ICT施工Stage IIの実現～」 ※令和6年度 インフラDX大賞 優秀賞 ・施工のオートメーション化に必要なツールの解説 ・ICT施工Stage II 実施事例	・㈱EARTHBRAIN 大場 重生 氏
15:30	閉講（アンケート記入後）	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 2ユニット（認定講習）
- 8 受講者の感想

- ・今後、ICT化が主流になっていくと思うため、知らなかったことも多く勉強になった
- ・無人化施工についてよくわかった。
- ・遠隔ソリューション メリットよくわかりました。チルトローデータは、使用してみたい。
- ・将来像が知れて楽しかった。

以上